

動労第39回 全国大会

「動乗勤(内達1号)」の裏切り宣言



83. 8. 29
No. 1429

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)・(公衆)〇四七二(22)七二〇七

動労「本部」革マルを打倒・一掃し、 三里塚・国鉄決戦の爆発をかちとれ



すべての組合員のみなさん！
動労「本部」革マルは、八月二三日から伊勢市で開いた第三九回全国大会において、動乗勤制度(内達一号)改悪、59・2貨物合理化、生活と権利を守る闘いについて、全面的な裏切りの「方針」を決定しました。
さらに、たたかう動労千葉や国労への解体攻撃を方針化し、鉄労・全施労・動労の産報化職能連合をうちだしています。
いまこそ、三里塚・国鉄決戦に勝利し、動労「本部」革マル一掃・動労大改革をかちとろうではありませんか。



動乗勤改悪―「妥協はやむを得ない」

動労「本部」革マル反動分子は、動乗勤改悪攻撃に対して「妥協はやむを得ない」といい、九月妥結策動の先兵になりさがっています。
すでに六月一七日の「全国戦長会議」において、なんと「働き不足についてはクリアーする以外にない」といいきり、六月妥結を策動したことにつづく反労働者の裏切りであります。

こんなことが許されるものではありません。

一九四九年の「内達一号」発効以来、三四年間にわたる国鉄労働者の血と汗の結晶であり、反合連転保安闘争が切りひらき、守り続けてきた労働条件を断じて敵に売りわたしてはなりません。

「たたかいは挑発だ」として、 たたかいを圧殺―裏切る反動路線

動労「本部」革マルは、国鉄労働者の入浴・反合・権利闘争について、「情勢が厳しい」「挑発だ」「たたかってはならない」と叫び、権力・国鉄当局の弾圧・処分攻撃に全面屈服し、こともあろうに、たたかう国鉄労働者を誹謗、中傷し、タレコミを行っているのです。そのような彼らが、職場内外からの怒りと弾効の嵐にさらされているのは当然です。

いよいよ本格化する国鉄決戦―「マル生4協約」の九月一日一方的破棄通告(動労と鉄労はすでに合意)、動乗勤改悪、59・2貨物合理化、入浴権利闘争などをまえにし、動労「本部」革マルは「動労のたたかう伝統をうちすてて」敵前逃亡を開始しています。

「やむを得ない」「挑発だ」なる言葉は、歴史的に使いふるされた裏切り者のセリフであります。

「二坪」脱落派を 大いに評価する「本部」革マル

さらに、動労「本部」革マルは三里塚闘争から脱落逃亡した「二坪派」に対して、「二坪土地再共有化運動の主体性を尊重」などといって、二期着工攻撃の先兵の役割を果たしています。

「三里塚」―「国鉄」で たたかいの爆発をかちとろう

すべての組合員のみなさん！
反動中曾根の軍事大国化・改憲、アジア侵略にむけた攻撃を打ち破ろう。「三里塚」への敵対、「国鉄」からの反労働者の逃亡を続ける動労「本部」革マルの裏切り路線をうち破り、動労千葉第八回定期大会の圧倒的成功―10・9三里塚への歴史的決起をかちとろうではありませんか。

訂正 と お わ び

8月27日付『日刊』Ⅱ全金本山労組の定期大会・全国総決起集会の報告の号で、写真説明文中に印刷ミスがありました。正しくは、「11年のロックアウトに抗し、」です。おわびして、訂正いたします。

1300 組合員の英智 を結集し

日時：10月5、6日
場所：千葉市、
千葉グランドホテル

動労千葉第8回
定期大会の成功かちとろう